京都外国語大学校友会会報

ALUMNI NEWS No.39

令和６年(2024年)６月17日発行

発行人＝京都外国語大学校友会　会長　中野多郎右工門

発行所＝京都外国語大学校友会

編　集＝京都外国語大学校友会　広報委員会



京都外国語大学校友会

〒615-8558　京都市右京区西院笠目町6番地

TEL:075-322-6057　FAX:075-322-6220

https://www.kufs.ac.jp/koyukai　e-mail:koyukai@kufs.ac.jp

●校友会ホームページをご覧ください。

京都外国語大学校友会　検索

No.39

京都外国語大学校友会会報

KYOTO UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES

ALUMNI NEWS





京都外国語大学校友会

CONTENTS

01 会長挨拶
京都外国語大学校友会　会長　中野多郎右エ門

02 理事長・総長挨拶
学校法人　京都外国語大学　理事長・総長　堀川徹志

03 学長挨拶
京都外国語大学・京都外国語短期大学　学長　小野隆啓

04 ロシア語学科初の卒業生

05 最高顧問追悼

06 寄稿文
宮本 守雄／川畑 正樹／坪井 環希子／星宮 佳子

10 祝「校友会奨学金授与」慶びの声
・外国人留学生給費奨学生（外国語学部・国際貢献学部）／（留学生別科）
・「輝く星となる学生」給費奨学生（外国語学部・国際貢献学部・短期大学）
・併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金　授与式

12 在学生からのメッセージ

14 「輝く星となる学生」奨学生の今／「外国人留学生給費奨学生」の今／
クラブ同窓会連絡会・交流会と外大祭への参加

15 支部・学科・クラブ同窓会だより
・京都支部／和歌山支部／教志会／福井支部
・徳島支部／福岡支部／兵庫支部／大阪支部
・東京支部／滋賀支部／剣道部／ JK杯
・ソフトテニス部／柔道部／学生放送局／能楽部
・硬式野球部／ヨット部／サッカー部／
スペイン語学科開設60周年記念「Reunión レウニオン」

20 令和５年度　校友会会計報告、事業報告／令和６年度　校友会事業計画

21 校友会役員／常任幹事／支部連絡先（国内・海外）／活動中のクラブ同窓会紹介

京都写真散策
Kyoto Photo Walk



表紙写真：軒下に飾られた祇園祭の粽

〔写真・文〕 アートディレクター
林　孝弘（s40年度英米語学科卒）

「祇園祭の粽（ちまき）」

このあたり一帯は京都でも特に古い民家が多く残っているところで西陣と呼ぶ。

ある日散歩をしていると、民家の軒下に祇園祭の粽がいくつも並べて飾られているのを見つけた。思わずカメラを取り出しシャッターを切る。粽は本来疫病・災難除けのお守りで山鉾のお会所や八坂神社で売られている。そして人々は自分の願いに合った粽を買い求め、厄除けのお守りとして一年間玄関先に飾るのが一般的だ。

粽といってもそれぞれ違ったご利益があり、例えば菊水鉾は不老長寿と商売繁盛、船鉾は安産、鈴鹿山は雷除け・盗難除け、岩戸山は開運というようにご利益が違う。変わったところでは、夜泣き封じや夫婦円満、親孝行などのご利益のものもある。

ちなみに我が家の玄関先には昨年買った放下鉾の粽が飾ってある。そのご利益とは、厄除け・疾病除け。この一年何事もなく無事に過ごしたいものだ。

母校を誇りに輝く校友たち

校友会の皆様には、ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より校友会活動へ深いご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

今世界は大きな時代の転換点にきており、新しい時代に向けて母校は歩み始めています。今春には「全方位教育」の柱であり外国語大学の王道・格式として創設された「ロシア語学科」の最初の卒業生の方々が巣立ち本会員になりました。故森田最高顧問先生の大喜びの姿が目に浮かびます。

昨年５月に新型コロナが５類相当に移行し、校友会活動も活気をとりもどし、京都、和歌山、福井、徳島、福岡、兵庫、大阪、東京の各支部総会、教志会実践報告研究会、滋賀、福井、和歌山支部の特定活動さらに剣道部、ソフトテニス部、柔道部、学生放送局、能楽部、硬式野球部、ヨット部、サッカー部のクラブOBG総会、スペイン語学科開設60周年記念「レウニオン」がそれぞれの持ち味を活かして開催されました。またクラブOB会連絡会・交流会を４年ぶりに開催し、各クラブOB代表と学生各委員会代表と現役クラブ学生と大学との活気ある交流が展開されました。このような校友会活動を通じて嬉しく思うのは、母校・京都外国語大学を誇りに輝いている多くの校友会員や在学生と出会えることです。

福井支部の「国際こども講座」では会場の県立図書館で、大勢の来場者の中、親子連れの女性の方から、校友会Ｔシャツ姿の支部員に「私、京都外大卒業生です！　子供たちも入学させたいです」と声をかけていただき、子供たちの前で誇らしげな母親姿が印象的でした。徳島支部の台風直撃下の阿波踊りでは、世界平和を唱える各国からの外国人編成の「あらそわ連」に続いて、「言語を通じて世界平和を願う京都外大連の皆さんが踊り込んできました」のアナウンスとともにずぶ濡れになりながら踊り込んできた校友たちの姿に胸が熱くなり、観覧席の隣の人たちも「京都外大！　頑張れ！」と声援する場面があり、嬉しさで、どしゃ降りも激励に変わりました。また、輝く星の学生や外国人留学生奨学生審査でも主体的に挑戦し輝いている多くの在校生がいることに感動しています。

校友の皆様のご活躍は、母校にとっての誇りであり、これから社会に出る学生さんにとっての希望となり母校の発展にも繋がります。校友会は今後も、母校を誇りとして輝いている校友たちと出会える機会、場所を数多く作り、多様に頻繁に情報発信していくことを続けていきたいと思います。校友の皆様には、引き続き尚一層のご支援ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。



外大祭



クラブOB会連絡会



外国人留学生給費
奨学金 授与式



「輝く星となる学生」
奨学金 授与式



京都外国語大学校友会
会長
中野 多郎右エ門
NAKANO Tarouemon

「雑学」のすゝめ

Message from HORIKAWA Tetsushi

学校法人 京都外国語大学
理事長・総長 堀川 徹志



「雑学」という体系的な学問分野はない。しかし、雑学はまさに多分野にわたり、わたしたちの人間性形成にかかわっている。雑学による知識の幅が広くなれば、それだけ人間性の幅が広がり、他人とのコミュニケーションに役立つことは間違いない。提供できる情報が多くなるからである。そこで大事なことは、わたしたちが使用する言葉と人格は正比例することであり、さまざまな情報や知識が血や肉になっていることである。

わたしたちは会話をしているとき、相手の言葉を聞いてなんらかの情景を描いている。相手の声がほとんど意味のない流行語や擬音・擬声であると、ある程度の感情は伝わるかもしれないが、具体的な情景は浮かんでこない。しかし、情報と内容がこもった言葉だと、それなりに情景が浮かんできて、一体感を感じることができる。

もう故人であるが、漫才師として人気のあった内海桂子（うつみけいこ）女史は弟子に向かって、『言葉で絵を描きなさい』と語っていたそうである。至言であると思う。相手が絵を描けそうな言葉遣いをするのである。わたしたちは文字を読んで、あるいは言葉を耳にして、常になんらかの情景を描いている。単純な情景から複雑な感情の入り込んだ情景まで描くことができる。そのことで人間性が豊かになる。

そこで役立つのが「雑学」の知識である。自分がいろいろな知識と情報を持っていれば、自分からそれらを提供できるし、また相手がそれなりの知識と情報を持っていれば、自分は聞き役にまわることもできて、相互理解が深まる。相手が絵を描けないような言葉は無意味で、非生産的である。

つぎは芥川龍之介の『蜘蛛の糸』の冒頭部分である。

> ある日の事でございます。御釈迦様は極楽の蓮池のふちを、独りでぶらぶら御歩きになっていらっしゃいました。池の中に咲いている蓮の花は、みんな玉のように真っ白で、その真ん中にある金色の蕊からは、何とも言えない好い匂いが、絶間なくあたりへ溢れて居ます。極楽はちょうど朝なのでございましょう。やがて御釈迦様はその池のふちに御佇みになって、水の表を蔽っている蓮の葉の間から、ふと下の容子を御覧になりました。この極楽の池の下は、丁度地獄の底に当って居りますから、水晶のような水を透き徹して、三途の河や針の山の景色が丁度覗き眼鏡を見るように、はっきりと見えるのでございます。

これを読むとそれなりの情景が浮かんでくるが、それには、わたしたちがこれまでに得たさまざまな情報と知識が役立っている。でも、「これは何だろう」と興味を持つものがここにあり、それを調べだせば、それが新たな雑学の始まり。そのときどきに目にしたこと、聞いたこと、気づいたことを調べれば、浅い雑学でも深い雑学でも、教養を豊かにしてくれる。「雑学」をすゝめる理由である。

言語学習の過去と現在

Message from ONO Takahiro

京都外国語大学
京都外国語短期大学
学長 小野 隆啓



言語学習にはいくつかの道具があります。文法の参考書、辞書、単語帳、聴覚教材、視覚教材、録音装置等々。私の時代（1970年頃）には数は多くありませんでしたが、いくつかの英文法の参考書があり、レベルも内容も様々でした。辞書にも英和辞典（研究社の英和中辞典、三省堂英和辞典など）、和英辞典、英英辞典(Concise Oxford English Dictionary)など様々です。その時代にはリスニング練習のためにはリンガフォン、ICEというテープ教材がありました。いずれもとても高価で買うのには勇気がいりました。視覚教材としてはビデオテープなどなく、テレビの教育放送か、映画館に行って英語の映画を見るしかありませんでした。録音器具としてはオープンリールのテープレコーダー、カセットテープレコーダー、ラジカセ、LL機能付きのカセットテープレコーダーなどがありましたが、いずれも高価で、これまたそう簡単に手に入るものではありませんでした。当時からリーディング教材としてTimeとかNewsweekなどもありましたが、都会の書店に行かないと手に入りませんでした。

今はどうでしょう。辞書は電子辞書の時代が終わりつつあり、スマートフォンで、例えばNASAのサイトの記事を読むとき、わからない単語は、その語を選択すると、小さな窓が開き「…その他のアクション」を選べば「選択した範囲を日本語に翻訳」をクリックすると日本語が出てきます。文をネイティブスピーカーの発音で読み上げさせることもできます。また、日本語に翻訳させることもできます。最近、生成AI(Generative Artificial Intelligence)と呼ばれる自然言語処理機構が急速に広がってきました。ChatGPTというソフトを用いれば、翻訳はもちろんのこと、要約まで可能で、さらに音声認識も音声合成もできますから、生成AIを１人のネイティブスピーカーとして会話もできるのです。かつて私の時代には、架空のネイティブスピーカーがいると想定してひとり英会話をしていた頃とは大違いです。質問すれば、チャンと答えてくれます。質問すれば、それに答えてくれるし、英文の間違いを指摘するよう追加の指示を入れれば、英文の修正すらしてくれます。もちろん、まだ完全ではありませんが、それは人間でも同じです。人間も言い間違えたり、文が話している途中で別の文になったりもします。

このように時代とともに言語学習の道具は飛躍的に変わっています。注意は必要ですが、それを使いこなして自分の言語運用能力を高めることはできます。新しい発明など、十分に有効活用し、今まで以上に外国語によるコミュニケーション力をあげる時だと言えるでしょう。



ロシア語学科 初の卒業生



ロシア語学科 r5年度卒

石黒貴子

出身地：千葉県
出身校：関東国際高校
就職先：株式会社リークラボ・ジャパン

言語を学ぶことが好きだった私は高校でロシア語を専攻しようと決めました。理由は英語ともう一言語習得することで自分の大きな強みになり、視野も広がると考えたからです。高校生活ではロシア語を学ぶことが楽しくて仕方がなかった私は大学でもっとロシア語を学びたいと考えていました。その時に高校のロシア語の先生に京都外国語大学に新たにロシア語学科が開設されると聞き、カリキュラムや先生の充実さ、豊富さに魅力を感じ入学を決めました。しかし入学早々私たちを待ち受けていたのはコロナと戦争でした。４年間で行こうと決めていた留学も叶わず、やりきれない気持ちが残ったまま卒業を迎えることになったことはとても悔しいのが正直な気持ちです。ですが、オンラインでの授業や留学なしでもここまでロシア語を学習し習得できたのはカリキュラムと授業制度が充実していたからだと思います。複数のネイティブの先生と授業内でロシアの学生との交流もあったことで私が求めていた「生のロシア語」を日常で触れる機会が多く、日本にいながらロシア語のリスニング力が上がったことがとても嬉しく感じています。将来はロシア語を使って貿易がしたいと考えており、ロシア人の社員さんがいる会社に就職を決めました。自分がやりたいと思うことを提案し、どんどん挑戦ができるような会社なので、将来はロシアと仕事ができるようにロシア語を忘れないようにあらゆる面で努力し続けたいと思います。これからは大学で思うように動くことができなかった分、思う存分社会に出て羽ばたいていきたいと思います。





ロシア語学科 学科長　菱川邦俊先生

2020年に発足したロシア語学科は2024年３月に初の卒業生を輩出しました。１期生というのは道なき道を切り開くパイオニア的存在。期待を胸に入学した大学生活は災禍に見舞われ、授業はオンラインでスタート。頼れる上級生がいない中、それぞれの場所で孤軍奮闘しながら学科を築いてくれました。そのパイオニア精神はきっと社会に出てからも活かされていくことでしょう。後輩たちが後に続きます。皆さんのご活躍を大いに期待しています。



最高顧問 森田嘉一先生のご逝去を偲んで

学校法人京都外国語大学　最高顧問（前理事長・総長）森田嘉一先生が令和５（２０２３）年９月10日ご逝去されました（享年93歳）。
謹んで先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。



略　歴

森田　嘉一（もりた　よしかず）
1931（昭和6）年１月24日生まれ

1956年３月　慶応義塾大学大学院法学研究科修了（法学修士）
1984年５月　グアダラハラ自治大学（メキシコ）名誉法学博士
1988年５月　ルイス・アンド・クラーク大学（米国）名誉国際関係学博士

1968年４月　京都外国語大学付属図書館　館長
1976年９月　学校法人京都外国語大学　理事長・総長
1988年４月　京都外国語大学・京都外国語短期大学　学長
1998年４月　京都外国語専門学校　校長
2000年４月　京都西高等学校（現京都外大西高等学校）校長
2021年４月　学校法人京都外国語大学　最高顧問

1992年10月　日本私立大学協会副会長・関西支部長
1993年８月　文部省日本ユネスコ国内委員会　委員
1994年７月　京都府教育委員会　委員長
2012年４月　公益財団法人日本高等教育評価機構　評議員
2020年６月　日本私立大学協会　顧問

1978年３月　在京都メキシコ合衆国名誉領事（外務大臣認証）
2011年２月　在京都ニカラグア共和国名誉総領事（外務大臣認証）



最高顧問　森田嘉一先生　お別れの会が、令和５年12月14日（木）森田記念講堂で執り行われました。





京都外国語大学に感謝



宮本　守雄　s40年度英米語学科卒

PROFILE（みやもと　もりお）
1966年　京都外国語大学英米語学科卒業
1976年　テキサス州ヒューストン大学（Houston, Texas）にて Dr. of Optometry（手術をしない眼科）修得
1978年　ミズーリ州セントルイス市（Saint Louis, Missouri）で開業して44年間、2022年現在に至る。

ここはミズーリ州、セントルイス市。米国中南部に位置し、ミズーリ州とイリノイ州の境に、ミシシッピー河（Mississippi River）が流れています。このセントルイスに、コロナワクチンのファイザーの開発研究所がございます。

私はヒューストン大学のCollege of Optometryで苦労に苦労を重ねて、OD（DOCTOR OF OPTOMETRY）の学位を修得し、ミズーリ州で州試験と面接を受け、State Board of Optometry, MissouriからCONGRATULATIONSの手紙を受け取りましてからこの地に定着して開業しました。40年余りが走馬灯の如く過ぎました。私の仕事は、検眼、コンタクトレンズの処方、そして、患者に最も大切な網膜、水晶体、そして、角膜を検査します。薬を使って治せるものは治し、網膜に出血又は黄斑点が見え、視力も弱ってきた時には、網膜の専門医に照会して手術をしてもらい、その術後の検査も私がする事が多いです。Lasikの手術後の管理もやっております。



この長い人生、誰にもup and downが有るもの。私にとりましてのupは、息子がハーバード大学、そして、同校の医学部と博士号課程を卒業して、同校の大学病院でがん専門医勤務。娘はミズーリ大学、Kansas City医学部を卒業して産婦人科医として開業している事です。





私にとりまして、京外大はまさに原点のその原点です。ヒューストン大学の入学に必要だった必須科目はCalifornia州のFoothill Collegeで修得していましたが、選択科目に認められたのは、京外大の３年生と４年生で取った経済学や貿易学でした。その時の京外大への感謝の気持ちは、今も変わりません。また、京外大での宝は、学生時代にお会いした方々です。ゴルフ部の部室で過ごし、語り合った場所。あの小さな兎小屋の様な部室こそ、まさに我が青春の殿堂でした。

私の様な仕事も京外大の多様性の一面になるかと末筆ながら投稿させていただきました。京外大の益々のご発展と皆様のご健康、そして、24時間微笑を忘れずにお過ごし下さいますよう、念じております。

探検から探求、そして探究へ



川畑　正樹　h1年度英米語学科卒

PROFILE（かわばた　まさき）
1990年　英米語学科卒業後、京都府立高校教諭、京都府総合教育センター研究主事兼指導主事、現在は京都府立盲学校中学部・高等部教諭

在学中は探検部。以来、テントと釣り竿をバイクや車に積んで国内外の山・川・海・温泉を旅して40年近く

昨年、校友会教志会実践報告研究会で25年ぶりに機会を頂戴し、ICTを使った英語教育について発表したところ、余談の（笑）バイク旅を本誌に、との御依頼。感謝申し上げます。

海外ツーリング第一歩は学生時代、カナダからアラスカへの旅。ネットもない当時はステイ先の電話帳でレンタルバイク店探しから。バンクーバーの街を抜けると爽快なハイウェイ、カナディアンロッキーの氷河、エメラルドブルーの川と湖。道端の巨大なヘラジカとクマ。川を埋め尽くすサーモン。先住民の村、ゴールドラッシュの残骸。キャンプ飯は釣った魚。「タウンバイクでよく来たね」。500ccは日本では大型扱いなのだが、確かにここでは。



――それから20数年後、サンディエゴからメキシコ国境沿いを東へ。ハーレーのラジオから「ホテル・カリフォルニア」。気温50度の乾いた砂漠、汗は出ないと錯覚。停まるたび体が１リットル以上の水を要求する。写真を撮ろうと停車していると、「大丈夫か？」心配した人が車を停める。ここでのバイクや人間の不調は命取り。その日の終わりにプールに飛び込むと一瞬で「とととのう」感覚。森を抜けるとグランドキャニオン。マザーロード旧ルート66の街は映画の中のUSA……。

――２年後、当時77歳の父と２台のハーレーで。街全体がテーマパークのラスベガス、一歩出れば砂漠とサボテン。赤い大地の地平線へ続く道は西部劇の舞台、モニュメントバレーへ。ナバホ族の聖地、居留地内は禁酒、ステーキに水で我慢。「ここは国だからね。タイムゾーンも独自」。ネットで旅は楽になったが、その日のゴールは当日決定が吉。時代や国が違っても変わらない旅先の一期一会。

教育界で日々叫ばれる探究活動、引き出したいのは「知りたい」「やってみたい」という好奇心。旅での出会いと発見を糧にして。校務でオーストラリア、マレーシア、フランスなどへの研修旅行引率や海外生徒受け入れに長年携わってきたが、今の責務は、現任校の生徒達に、多様な価値観とPAX MUNDI PER LINGUASを伝えること。とりあえず次の海外ツーリングは、家族４人小さなFIATで巡ったスイスアルプスの峠越えの続きか南半球か、などと思案中。







日本人として、地球人として



坪井　環希子　h3年度ドイツ語学科卒

PROFILE（つぼい　わきこ）
1991年　ドイツ語学科卒業、メルセデス・ベンツ販売会社、シュテルン京都入社
1995年　渡独 ゲーテ・インスティテュート、ミュンヘン入学
1996年　Stitz Computer GmbH 入社、Inlingua 語学学校にて、日本語講師
1999年　渡仏　グルノーブル市在住、I.L.L 研究所にてフランス語講座履修
2001年よりフリーランス日本語教師（語学学校、研究所など）日本文化講座講師（美術館、芸術センターなど）日仏通訳
2012年より UIAD (Université Inter-Âges du Dauphiné) ドフィネ生涯教育大学、日本語教師
2023年　フランスにおける日本語教育の推進により、外務大臣表彰を受賞、つくば市との姉妹都市提携10周年記念事業コーディネート

能登半島地震被災者の方々には、心よりお見舞い申し上げます。フランス、グルノーブル在住、ヨーロッパに28年。ALUMNI NEWSによせて、京都外大での日々を思い出し、今の自分があるのは、やはり外大での礎に他なりません。将来のことは漠然としたものでしたが、若さのもとに、色々なことに挑戦した楽しい学生生活でした。岐阜県出身ということで、まず京都弁を外国語の勉強のように取り組んだことを懐かしく思い出します。

２回生の夏期講習のミュンヘンでの語学留学が、人生を導くきっかけでした。ホームステイをし、様々な国のヨーロッパ人と独語を学びました。その後２週間、友人２人でヨーロッパの数都市を電車旅行。当時はユーロもなく、携帯もなく！ 人種、言語、歴史、通貨もこれだけ違う様々な国の人々が、ひしめきあって暮らすヨーロッパに大変な感動を覚えました。将来ここが自分の生きていく道だ！と夢を描きました。

卒業後は、独車販売会社に就職しましたが、ドイツで暮らすという夢が膨らみすぎ、一大決心、単独ドイツに渡りました。念願叶っての現地での暮らしは、外大の４年に勝る猛勉強の日々でした。ゲーテでヨーロッパ人と共に独語を学び、ドイツ企業に就職できた時には、夢が叶った！と思っていたドイツ滞在５年後、縁がありフランスへ渡ることになり、自分の選択の失敗、こんなはずではなかったなどと、憂鬱な日々を過ごしました。しかし、自分の人生を変えるのは自分しかない！と一念発起。仏語の勉強に取り組み、日本語教師としてフランス人の生徒さんと共に過ごしてきました。日本との架け橋に、との思いから日本語授業、折紙、書道、風呂敷などの文化講座や、映画館とのタイアップで日本映画をテーマにした日本旅行を企画、日本語補習校の活動をし20年、昨年は大変光栄なことに外務大臣表彰を頂戴いたしました。また、つくば市との姉妹都市提携10周年という大きな文化イベントを終え、日仏文化交流に忙しい毎日です。


外務大臣表彰授賞式、倉富リヨン総領事と、グルノーブルにて。

独語を勉強したものの、フランスに来ることになり、後悔や、挫折感を味わいましたが、今は、二つの言語、二つの国を知ることになり、ピンチをチャンスに！そんな柔軟性があっても良いのだと思う気持ちが強くなりました。日本が大好きな仏人生徒さんや、様々な文化イベントなどを通して、異文化や、歴史を知るということは、故郷を再発見し、自分たちの歴史や、ルーツと照らし合わせながら、世界を知ることにつながっていることに驚かされます。緊張感が迫る国際情勢の中で、今こそ異文化、外国人同士の相互理解、対話が必要な社会なのだと実感します。子供たちが成長し、外国で自分の故郷のことを自信を持って教えてあげられる平和な世界になることを心から願い、日々の出会いに感謝しています。


つくば市姉妹都市提携10周年記念事業、日本月間、オープニングセレモニー、五十嵐つくば市長と、グルノーブルにて。

夢を追いかけて広がった世界



星宮　佳子　h14年度フランス語学科卒

PROFILE（ほしみや　よしこ）
2002年　フランス語学科卒業
2002-2004年　民間企業
2006年　ブリュッセル自由大学（ULB）大学院・開発協力専攻修士課程修了
2007-2009年　青年海外協力隊・ウガンダにて村落開発普及員
2009-2012年　国連児童基金（ユニセフ）・ブルキナファソ事務所にて教育担当官
2012年　国連児童基金（ユニセフ）・コートジボワール事務所にて教育専門官
2014年　国連児童基金（ユニセフ）・中央アフリカ事務所にて教育クラスターコーディネーター
2014年　国際協力機構（JICA）・南アジア部スリランカ担当
2015年　外務省入省（現在）

「アフリカ」それは私が幼少期から憧れ、外大で仏語を専攻した理由もその一つです。卒業後に一旦民間企業に就職したものの、アフリカの貧困削減に少しでも貢献する夢を諦められず、外大の派遣留学で滞在経験のあったベルギー仏語圏の大学院で２年間開発協力学を専攻。

修了後は青年海外協力隊の村落開発普及員として２年間ウガンダに滞在。電気や水道も限られた環境で外国人がいない小さな村に住み、生活改善を目指して実施した村人への調査を基に、小学校の学校給食改善プロジェクトを立案。多くの児童は貧しいため給食を食べられずそれがドロップアウトする原因の一つだったため、学校菜園で雨量が少なくても育つ陸稲米やサツマイモ栽培を実施しました。


ユニセフの同僚と

現地に根ざした活動は充実していたものの、政策レベルで貧困削減に関わりたく、外務省が実施しているJPO派遣制度に応募し国連児童基金（ユニセフ）の教育担当官としてブルキナファソに２年半派遣。上司らにも恵まれ、「子どもに優しい学校プロジェクト」の一環として学校菜園をはじめ学級文庫やスポーツ活動の推進など立案から実施まで一連の責任を任せてもらえたのは貴重な経験です。その後、コートジボワールや中央アフリカのユニセフでは緊急支援における教育活動に携わり、危険と隣り合わせの環境で業務を実施する難しさも経験しました。

慈善事業でなく途上国自ら成長出来る可能性を模索しつつ、もっと広い視野で国際社会に関わるため外務省に経験者採用として転職。これまでハイチやルクセンブルクの日本国大使館、本省では邦人テロ対策室、アジア太平洋経済協力（APEC）室を経て、現在は日米地位協定室で勤務しています。外務省は日本の国益を念頭に交渉・調整することから大変な局面も多い一方、国賓対応や総理行事に関わるなど貴重な機会にも恵まれました。外大で学んだ仏語がこれまでの経験に生かされていることに、語学の魅力と無限の可能性を感じています。



APEC 室勤務時

令和５年度 「校友会奨学金 授与」慶びの声

外国人留学生給費奨学生

■ 外国語学部・国際貢献学部



アルベルト ウィリアム ホラシオ（インドネシア）
（グローバルスタディーズ学科・4年次生）

この大学で学んだことを将来の自分に活かします。



チン ギ（中国）
（グローバルスタディーズ学科・4年次生）

将来は社会に貢献できる人になることを目指します。



ジン モンシ（中国）
（日本語学科・r5年度卒）

日中貿易会社に就職し、学んだ知識を活かしたい。



スウ チョウショウ（中国）
（グローバルスタディーズ学科・r5年度卒）

今までの経験をもとに日本の美しさを世界へ届ける。



キム ウジュン（韓国）
（グローバル観光学科・4年次生）

多くの人々の生活を豊かにすることに貢献します！



オウ イリョウ（中国）
（日本語学科・4年次生）

最後の瞬間まで、悔いのない人生を送りたい。



ハン タクカ（中国）
（グローバル観光学科・r5年度卒）

日本で紹興酒を広め、中日間の酒交流を促進したい。



チェ ドンヒョップ（韓国）
（グローバル観光学科・4年次生）

将来韓国と日本を繋ぐ一つの懸け橋になります。

■ 留学生別科



カウン セッ ヘイン
（ミャンマー）
（留学生別科）

日本で大学進学・就職後、将来、色々な挑戦をしたい。



ムニラ モスト セラジュム
（バングラデシュ）
（留学生別科）

日本語教師になって、母国に日本語を広めたい。





「輝く星となる学生」給費奨学生

■ 外国語学部・国際貢献学部・短期大学



亀山　佳菜
（滋賀県出身／滋賀県立虎姫高校）
（英米語学科・2年次生）

「輝く星となる学生」に選んでいただいたことを大変光栄に思います。英語以外にも様々な科目を履修し学び、大学生時代にしかできないことにどんどん挑戦し、将来に向けて人間としての幅を広げていきたいです。



岩本　マサヒロ
（長野県出身／阿智高等学校）
（英米語学科・4年次生）

この度は輝く星となる学生奨学金の採用、非常に嬉しく思います。私が目標にしている通訳者の様に、心から寄り添って通訳ができる通訳者を目指し毎日勉学に励んでおります。今後も沢山の事に目を向け、輝く星となる学生になれるよう日々邁進してまいります。



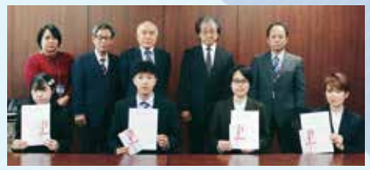
小熊　のぞみ
（新潟県出身）
（キャリア英語科・短2年次生）

私は高校卒業後就職しましたが、国際貢献に関わる夢が諦められず大学入学を志しました。改めて学生として勉学に励めることや、志望する未来への選択肢があることがとても幸せです。この奨学生に選んで頂けたことを励みとし、誇りを持って邁進していきます。



渡邊　裕美
（福島県出身）
（キャリア英語科・短2年次生）

私のモットーは、歳を重ねても常に新しいことに挑戦することです。大学進学も大きな挑戦でしたが、さらに一歩踏み出すことで、新たな可能性を見つけることが出来ました。今後も将来の夢の実現に向け、より一層精進いたします。ご支援ありがとうございました。







併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金　授与式

令和６年１月12日（金）「併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金」の授与式が執り行われました。この校友会の補助金制度は、併設短期大学から本学への編入学試験に合格され入学される皆さんへの支援制度です。

授与式は、中野校友会会長、村井副会長、小野学長、中嶋学生部長が出席され、中野会長から認定書と補助金が手渡されました。引き続き会長そして小野学長から祝辞が述べられ、その後、７名の学生を代表して阪上未貴さんが謝辞を述べられました。皆さんのご活躍を祈念いたします。





在学生からのメッセージ





公文 大雅
（愛知県出身）
英米語学科４年次生

新型コロナウイルスに関する制限の緩和により、様々な障壁が無くなり、オランダ留学やJUEMUN・KUFSMUNといった模擬国連大会への参加など貴重な経験ができました。また本学の翻訳や通訳の授業で得た実践的な英語が大いに役立ちました。課外活動においては、手話部を創設し、部の代表として人権週間では聴覚障がいに関する講演を行いました。さらに、障がい学生支援室と手話カフェを企画し、学生サポーターの活動では、手話講師として学生や先生方に向けた手話講習も行っています。



花城 哲平
（大阪府出身／大阪府立芥川高等学校）
スペイン語学科４年次生

毎日スペイン語に触れることを大切にしています。授業ではもちろん休み時間もスペイン語でネイティブの先生や留学生と会話し、授業がない日は言語学習アプリでスペイン語話者からアドバイスを受けて運用力を上げています。文法や単語は書いて覚え、実践で磨きをかけ、インプットしたらアウトプットすることを意識しています。日々努力を積んでいるのも、将来、トップスポーツブランドの社員になって通訳として貢献したいからです。



奥田 一颯
（埼玉県出身／埼玉県立伊奈学園総合高校）
フランス語学科３年次生

私はこの大学で、とても内容の濃い学生生活を送っています。語学はもろちん、外国語大学ならではのグローバルな専門知識を学べる環境が整っており、自分のやりたいことに没頭できることを嬉しく思っています。

先輩方が国際交流を通して「京都外国語大学」の価値を築き上げたからこそ、現在私たちが素晴らしい環境で学習できているのだと思います。

その信頼と歴史を胸に、これからの生活をさらに実りあるものにできるよう、努めていきます。



須田 夢里彩
（富山県出身／富山県立南砺福野高等学校）
ドイツ語学科４年次生

コロナ禍が収束し、待ち望んでいた海外留学に挑戦しました。私はオーストラリアのシドニーに交換留学生として留学しました。

現地ではホームステイをし、言語や食文化の違いが大きく苦労しましたが、様々な価値観に触れることができました。また、部活やサークルを通して多国籍の友人を作ることができ、知らない世界を知ることができたので留学に挑戦して良かったと思います。

今後は留学で得た挑戦心の強みを活かして海外の方々に日本の魅力を伝えることができるよう就職活動に励みたいと思います。



福田 眞彩
（大阪府出身／梅花高等学校）
ブラジルポルトガル語学科４年次生

私は2023年11月18日に京都外国語大学で開催された『全日本学生ポルトガル語弁論大会』に「演技することは生きること」（Encenar em Português é vida）という演題で参加し、第１位である駐日ポルトガル大使杯を受賞しました。弁論大会へ参加したことで、発音や表現することにも自信がつきました。そして2024年９月から2025年６月までのポルトガルへの留学も決まりました。約１年間の留学で、ポルトガル語はもちろん、文化や歴史など様々なことを学び吸収したいと思っています。



須崎 龍茉
（山口県出身）
ロシア語学科４年次生

私はこの大学生活で様々なことに挑戦することに重きをずっと置いていました。

ロシア語能力を上げる為、ニュースや論文をロシア語で読むようにしたり、難しい会話に積極的に参加したりしました。

そのおかげもあって今では軽い通訳の仕事を持ちかけられたり、京都でロシア語話者向けにガイドをしたりなど様々なことに挑戦出来るようになりました。

また、友人とウズベキスタンへ行きロシア以外のロシア語圏の文化も学びに行きました。

これからも学生のうちに出来る―挑戦―をもっとしていきたいです。



熊谷チュー樹理
（大阪府出身／Han Chiang Hight School マレーシア高校）
中国語学科 r5 年度卒

新しい出会いと体験に満ちた４年間でした。コロナ禍の影響で制限の多い始まりでしたが、オンラインを活用した、人とのコネクションを体感できたり、自己成長を促すきっかけに繋がりました。

また学内の先生や友人・家族の支えのおかげで、弁論大会やボランティア活動といった、イベント溢れる学生生活を送ることができました。

これから新社会人として、新たな挑戦が始まりますが、ここ京都外大で得た学びや、培った経験をもとに、さらに進歩できるよう励んでいきたいです。



中井 琴音
（兵庫県出身／姫路市立飾磨高等学校）
イタリア語学科４年次生

留学生との交流やイタリア語での京都案内など学びを活かす機会に恵まれ、語学力の上達を実感しています。

特に、全日本学生イタリア語弁論大会で優勝したことに大きな達成感を感じました。私にとって２度目の挑戦で、前回は受賞圏外という悔しい結果に終わったこともあり、今回賞をいただけたことが本当に嬉しかったです。練習に協力してくださった先生方や留学生の友人には感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも知識やスキルを磨き、成長し続けられるよう頑張ります！



大山 舞里
（滋賀県出身／八幡商業高校）
日本語学科４年次生

私は日本語教育の知識と技術を持った国語教員になることを目標としています。そのため教職課程はもちろん、日本語教育にも力を入れており、３回生の１年間はクロアチアで日本語教壇実習を行いました。実際に学習者の前で授業をすることはほぼ初めてに近かったので試行錯誤の連続でしたが、留学を終えた今、クロアチアでの経験は私に何事にも果敢に挑戦する勇気と自信を与えてくれたと感じています。これからも精一杯頑張ります。



チャベス エンジェル バヨナ
グローバルスタディーズ学科
４年次生

As a student at Kyoto University of Foreign Studies, I am thankful for the opportunities I was able to explore first in the Department of English Studies for Careers where I learned to enhance my English skills, and second in the Department of Global Studies, where I had the chance to utilize my English skills in various projects and activities such as the Japan University English Model United Nations (JUEMUN), the HULT Prize, and internship opportunities.

The event that I liked the most was a project I joined during my Global Business seminar class. My team and I had a chance to partner with a start-up company called MATCHHAT, which is a website built for people who want to explore their creativity and meet people where they can share their hobbies and experiences with each other. It opened my eyes to what is possible in the tech industry, especially for a person like me that barely knows anything about technology.

I recommend KUFS students to explore the various opportunities at KUFS and discuss the possibilities with professors, staff, and fellow students. You never know what your next adventure will be and what you will learn.



西村 梨渚
（鳥取県出身／鳥取県立鳥取東高校）
グローバル観光学科
４年次生

将来どのような方向に進むのか悩む中で、人や言語と関わることに興味があると気付き、様々な活動をする人達と出会い、コミュニケーションを取りながら活動してきました。統合型リゾートで世界最大手企業のMGMのリゾートインターンシップもその一つで、英語でのレクチャーやプレゼンテーションを不安に感じましたが、新しい出会いや学びから刺激を沢山受けました。今回得た学びや経験を糧に、これからも好奇心旺盛に取り組みたいと思います。



吉田 大空
（京都府出身）
キャリア英語科
２年次生

短大に入学し様々なサークルやコミュニティに入り、そして色々なことを経験していくうえで多くの素敵な友達や先輩などと出会うことができました。毎週Ninjaに通ったり、X-readingで表彰されるなど自身の英語力向上にも力を入れた１年でした。今年はあと１年の限られている短大生としての時間を有効活用し、様々な面で自分自身のレベルを高める１年にしたいです。

「輝く星となる学生」奨学生の今



相馬 あすか
r4年度フランス語学科卒



皆さま初めまして、私は2022年度フランス語学科卒業生の相馬あすかと申します。

卒業後は株式会社はとバスに入社し、バスガイドとして念願だった観光業に携わっています。

現在は都内と横浜・鎌倉を中心に、定期観光や貸切業務を担当しています。様々な場所を訪れ、美しい景色やその土地の歴史・文化に触れる日々は、毎日が新しい発見で満ち溢れています。またお客さまとの出逢い、その笑顔を見られることが何よりの喜びです。



背景には間違いなく京都で過ごした４年間、在学中のフリーガイドクラブでの活動が大きく影響しています。

外大での挑戦を糧に、皆さんがそれぞれの夢に向かって飛躍されることを心から願っています。Bon courage！

NOW

「外国人留学生給費奨学生」の今



李 賽
r2年度日本語学科卒



大学生活は素晴らしい経験でした。

４年間の学びの中で、新しい友人との出会いや貴重な知識の獲得だけでなく、自己成長もたくさん経験しました。大学での経験は、私の人生において不可欠なものだと思います。



卒業後、EC越境の会社に入り、新しい職場で働くことができてとても嬉しいです。

大学で学んだことや経験が、今の仕事に役立って、新しい環境で新しいことを学びながら成長する喜びを感じています。これからも、努力して仕事に取り組み、自己成長を続けていきたいと思い、今後もこの経験を生かし、社会に貢献していきたいと思います。

クラブ同窓会連絡会・交流会と外大祭への参加

９月30日（土）４年ぶりにクラブ同窓会連絡会を開催しました。20クラブからOBと現役で約50名、学生委員会から４名の委員長、さらに学生生活課長にご臨席賜り、意見交換を行いました。クラブ加入率が低いようです。交流会も、各クラブからの現状報告等を交え、和やかに行われました。

外大祭２日目の11月４日（土）飴玉つかみと校友会グッズ販売で参加しました。パインアメも確保でき、約60名が一喜一憂しながらチャレンジしてくれました。お手伝いの皆さまもそれに負けない熱い対応をしていただき、ありがとうございました。







支部・学科・クラブ同窓会だより

京都外国語大学校友会 検索

→ 京都支部

支部長　古澤昭人　s41年度英米語学科卒

■ 令和５年度京都支部総会・懇親会の報告

令和５年６月18日（日）京都支部の決算報告、監査報告、新役員の紹介を行いました。全体写真を撮って終了しました。懇親会ではご来賓祝辞の後、ランゲージセンター紹介をビデオで視聴しました。

今回のお楽しみ会ではフラダンス部の演技を鑑賞しました。藤本副学長の乾杯のご発声の後、交流会がスタートしました。他支部からの協力産品の紹介があり、またビンゴゲームの抽選会では大いに盛り上がりました。最後に学園歌を合唱し、和気藹々の雰囲気で懇親会を終了しました。



→ 和歌山支部

支部長　戸川定昭　s62年度英米語学科卒

■ 和歌山支部第13回総会・講演会・懇親会の報告

令和５年度支部総会・講演会・懇親会を、７月２日（日）午前10時から、ホテルアバローム紀の国にて開催いたしました。

総会では、昨年度の活動報告、会計報告、今年度活動計画、予算案について審議しました。その後、「語学教育は最高のエンターテイメント」という題で、音楽家・外国語指導講師の木谷悦也氏から、講演と電子ピアノの弾き語りをしていただきました。和歌山支部長とのコラボもあり、会場は盛り上がりました。

４年ぶりの懇親会もなごやかなムードで楽しいひとときを過ごしました。



→ 教志会

会　長　左近正則　s58年度英米語学科卒

英語教育実践報告研究会を令和５年７月29日（土）に開催しました。名誉教授 赤野一郎先生による講演「コーパス言語学の知見に基づく語彙指導 —every word has its own grammar —」、実践報告 ①豊田市立西保見小学校 松本友美先生「スモールトークを楽しむ児童の育成を目指して」、②豊田市立稲武中学校 吉住典晃先生「教科書の題材を生かした授業づくり」、③京都府立盲学校高等部 川畑正樹先生「ICTで音読から４技能５領域へ」をテーマに発表していただきました。今年度も多くの先生方のご参加をお待ちしております。



→ 福井支部

支部長　松川欽哉　s44年度英米語学科卒

■ 北陸新幹線開業で新しい時代に……

北陸新幹線開業（金沢～敦賀）で、福井県は新しい時代を迎えました。これからどう変わるのか？ 県民としては楽しみです。また、今年は福井支部にとっても総会が10回目になる節目の年になりました。8月4日（日）に、第10回記念「福井支部総会・懇親会」を開催します。新しい時代も…、福井支部は「地味にすごい福井」で歩み続けたいです。

昨年の支部活動は、第９回総会・懇親会（8月６日）を開催、特定活動として県立図書館と共同主催で「こども国際講座」を実施、「REINAN国際交流のつどい」に参加しました。







京都外国語大学校友会 検索

→ 徳島支部

支部長　岸本和代　s51年度英米語学科卒



令和５年８月14日、第29回徳島支部総会を開催。中野校友会会長にもご出席頂き、有意義なひと時を過ごすことができました。総会では徳島市の姉妹都市ポルトガル・レイリア市の名誉市民でもある渡忍氏（89歳）の長年の国際交流の功績（ホームステイ・絵本贈呈等）を紹介。阿波踊り「京都外国語大学校友会連」は有名連・藝茶楽連のご協力を頂き、笑顔一杯で演舞場に踊り込みました。





→ 福岡支部

支部長　北村　亨　h10年度スペイン語学科卒



福岡支部では去年10月、支部総会と懇親会を開催し、ご多忙のなか堀川徹志理事長・総長、中野多郎右エ門校友会会長のご臨席を賜りました。決して大規模とは言えない、こじんまりとした支部総会ではありますが、アットホームな和気あいあいとした会となりました。

今後は、福岡のみならず、九州各地で活躍する若い校友のみなさんのパワーを取り込みながら、校友会活動のお役に立てるよう、みなで知恵を絞りたいと思っています。



→ 兵庫支部

支部長　川口榮一　s41年度英米語学科卒



令和５年10月15日（日）にホテルヴィスキオ尼崎にて第10回総会・懇親会を開催いたしました。

今回は記念大会として、（株）日本旅行 平田進也氏をお招きし「持続可能性を踏まえた観光学」をテーマにご講義を頂きました。

懇親会では中野会長、小野学長から心温まるご祝辞を頂戴しました。

皆様にご支援を賜り、盛会の内に終えることができ、誠に有難うございました。本年度も総会・懇親会を予定しておりますので、引き続き、ご参加を頂ければと思います。

→ 大阪支部

支部長　植松宏行　s43年度英米語学科卒



■ 大阪支部総会・懇親会

2023年11月23日（祝）に大阪市中之島にある国際会議場12階（グラントック）にて支部総会・懇親会を開催致しました。大阪支部（大阪、奈良在住者へ案内）は２年に１度の開催ですが、前回は新型コロナの影響で開催できず久しぶりの開催となりました。

まず大阪支部総会の現状報告等を行い無事に承認されました。その後の懇親会は約50名に参加頂き、各自の近況についての発表があったり、思い出話で大いに盛り上がりました。

→ 東京支部

支部長　青木光子　s52年度英米語学科卒

第35回東京支部総会・懇親会を銀座グレースバリで開催しました。

校友会会長、役員、大学理事長・総長、学長、国際言語平和研究所員、支部役員、卒業生等多くの方々が集いました。

今回はみんなでLet's dance ！ サルサのプロダンサーによる、情熱溢れるダンスと、その後みんなで楽しくステップ！

抽選会では、各支部の地元名産品、卒業生からご厚意の品々が寄せられ、特賞は伊豆温泉ペア宿泊券！

楽しいひと時でした。皆さま、ありがとうございました。







→ 滋賀支部

支部長　木下輝明　s41年度スペイン語学科卒

■第５回歴史文化ふれあい研修

10月21日に三井寺の研修を実施しました。大学にある学科言語でインバウンド需要に対応出来るよう教職（教志会）経験者と協力、情報発信を目指します。

大津市歴史博物館では東海道の宿場町、琵琶湖水運の港町など様々な町の姿を見学。昼食後、国宝を多く伝える三井寺を拝観、僧侶の案内で旧学問所の勧学院を特別拝観。今回ガイド役の卒業生が主宰する一会和堂セミナーハウスで大津絵の解説を聞き解散。一部の参加者は、大津絵鬼土鈴絵付けを体験しました。



→ 剣道部

OB会会長　作間幸雄　s59年度英米語学科卒

●５月20日にOB会総会及び新歓コンパを行いました。会議や懇親会も行われるようになり、以前の生活状況に戻りつつあると感じました。ただ新歓コンパは昔とは様変わりし、時代の流れを感じずにはいられませんでした。

●12月９日には関西学連のOB大会が行われました。今回は女子が２チーム出場し、女子全体を見渡しても存在感を出せたかと感じています。

→OB会総会やOB大会の詳細については校友会HPに掲載しているので、そちらをご覧ください。





第29回小・中学生英語スピーチコンテスト決勝大会開催報告

令和５年12月10日（日）和歌山市中央コミュニティセンターにおいて、第29回ジョン・ケンドリック杯小・中学生英語スピーチコンテスト決勝大会を開催しました。

小・中学生18名の決勝進出者が、英語で、表情豊かに堂々と発表してくれました。大会の様子を地元、テレビ和歌山が取材し、ニュースで報道していただきました。京都外国語大学、校友会会長はじめ校友会本部に、たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

支部長　戸川定昭（s62年度英米語学科卒）





→ ソフトテニス部

OB会事務局　山部浩二　s56年度スペイン語学科卒





コロナによる活動制限が緩和され、令和５年度より例年通り年２回（春季／秋季）の交流会を再開しています。春季にはOB会総会を同時開催しています。

交流会はOB間及び現役部員との親睦の場として、昼の部の「テニス交流戦」と夜の部の「懇親会」で構成されています。

OB会の運営は会費/会員制としており、会費収入は春季懇親会での現役部員の飲食費、現役部員へのボール寄贈、及びOB会だより（2～3回/年）の発行などの費用に充てています。

→ 柔道部

OB会会長　河越将守　s44年度英米語学科卒



2023年６月３日（土）大学内のラウンジにて柔道部OBG会が開かれました。まずは河越OB会会長の挨拶から始まり、今回はロスアンゼルス在住の森先輩からのご要望もあり開催の運びになったとお伝えしました。また柔道部の初代師範であられる三橋先生や近藤先生の遺影を平野先生がご用意いただき、お忙しい中、多くのOBが参加してくださって各自の近況報告も含めて昔話に花が咲きました。あと今回は現役の柔道部員にも参加してもらい、活動の状況等についても話し合いました。

→ 学生放送局

OB会会長　小川欣一　s42年度英米語学科卒



■ 学生放送局OB会総会

OB会総会は４年ごとに開催することになっています。前回は2020年がその年でしたがコロナの影響で見送りとなり、感染が落ち着いた2023年７月、実に７年振りに都ホテル京都八条で開催いたしました。

現役生も交えての総会でしたが昭和時代の卒業生と令和の現役生が「部活」を通じて解け合う１日となりました。残念なのは平成時代のOBの参加がなかったことです。３時代をどう繋いでいくか、今後の課題を痛感した１日でもありました。

→ 能楽部

塚田智恵　h19年度大学院修了



9月16日（土）に仕舞・謡をゆかたで発表する会が、京都の「真謡会館」にて開催されました。現役・OBともに先生方や見に来てくれた方の前で、日頃の練習の成果を発表することができました。仕舞・素謡の発表の後は、京都のビアホール「ミュンヘン」に移動し、懇親会が開催されました。現役との交流もできるよい機会となりました。また12月2日（土）には河村能舞台で、現役とOBが共に力を合わせ第58回「外大能」を開催しました。



→ 硬式野球部

OB・OG会会長　八木精一郎　h3年度英米語学科卒

この度、硬式野球部OB・OG会会長に就任した八木です。野球部の復興に向け立候補致しました。

これからは新部長・新監督、学生、OB・OG会が三位一体となり野球部の復興を成し遂げます。

能動的に就活のアドバイスも行い、錚々たる先輩達の人脈を部員の皆さんに大いに活用してもらいます。

OB・OG会の支援体制を盤石にし、主役である学生の皆さんに野球に打ち込んでもらう環境を作ります。校友会の皆様、卒業生の皆様、宜しくお願い致します。




１月27日（土） OB・OG会総会の様子
左はOB・OG会総会の様子、右は下川新監督挨拶です。

→ ヨット部

OB会　担当者　小堀憲一　s43年度英米語学科卒

■ ヨット部（帆友会）総会

ヨット部2023年度OB会（帆友会）を大阪梅田「がんこ」にて創部時からのメンバーである三宅、長谷川両先輩含め７名の参加のもとに開催致しました。門谷会長からは女子部員の獲得に一層注力したい、他大学から京都外大ヨット部の復活を期待する声がある、他今後も前向きに取り組んでいきたい旨挨拶があった。大西OBよりサークルの現状報告、藤本OBより会の収支報告、残念ながら欠席となった方々の近況報告があり、長谷川先輩に挨拶頂き、大変楽しく有意義であった会を閉会と致しました。

会の運営、取組に改めて感謝を致します。



→ サッカー部

古谷国大　h29年度ブラジルポルトガル学科卒



■ サッカー部創立60周年記念式典を挙行

2022年からパンデミックの影響で延期されていた記念式典を２月25日にエースホテル京都で挙行しました。全国から駆けつけたOB・OGと現役部員18名の計75名が参加。開式では、名誉顧問辻淺夫先生からの温かいご挨拶をいただき、理事長・総長堀川徹志先生からいただいた祝電も披露しました。その後は、60年の歴史を振り返る映像を観ながら、大学時代の思い出に浸りました。ご参加いただいた皆様、心より感謝申し上げます。これからも外大サッカー部を一緒に盛り上げていきましょう！



スペイン語学科開設60周年記念「Reunión レウニオン」

3月9日（土）にスペイン語学科開設60周年記念「Reunión レウニオン」を開催しました。総会で懐かしい先生方のビデオメッセージ上映や活躍する卒業生の表彰を行った後、卒業生からの希望が多かった教員によるスペイン語の授業、卒業生講師によるフラメンコ、サルサ、タンゴのレッスン、スペイン産のシェリー酒の講習会、巨大パエリア作りを実施し、1期生から最近卒業した年代まで120名余りが交流を深めました。





青木大延（h23年度スペイン語学科卒）

令和５年度　校友会事業報告

主な行事	
6月17日(土)	大学との交流会〈11号館２階　ラウンジ〉
7月　7日(金)	外国人留学生給費奨学金授与式（留学生別科）〈８号館２階　会議室B〉
9月30日(土)	クラブOB会連絡会・交流会(11号館2階　会議室・ラウンジ)
11月　4日(土)	外大祭　模擬店出店
12月　1日(金)	外国人留学生給費奨学金授与式〈８号館２階　会議室B〉
■ R6年	
1月12日(金)	併設短期大学推薦編入学試験入学検定料補助金（給費）授与式〈７号館４階　742教室〉
19日(金)	「輝く星となる学生」給費奨学金授与式(8号館2階　会議室B)
20日(土)	大学との新年会〈ホテルオークラ京都〉

支部総会・懇親会	
6月18日(火)	京都支部　総会・懇親会〈11号館2階 ラウンジ〉
7月　2日(日)	和歌山支部　総会・講演及び音楽会・懇親会〈ホテルアバロームきのくに〉
23日(日)	福井支部　国際フェスティバル「夏休みこども国際講座」〈福井県立図書館〉
29日(月)	教志会　英語教育実践報告研究会〈４号館５階　R452〉
8月　6日(日)	福井支部　第9回総会・懇親会〈ウエルアオッサ〉
14日(月)	徳島支部　第29回総会・懇親会・阿波踊り〈ホテルクレメント徳島〉
10月　1日(日)	福岡支部　総会・懇親会〈広東料理SESSION〉
15日(日)	兵庫支部　第10回総会・懇親会(ホテルヴィスキオ尼崎)
21日(土)	滋賀支部　第5回歴史文化ふれあい研修(単年特定活動)
29日(日)	福井支部　国際フェスティバル REINAN国際交流のつどい〈敦賀プラザ万象〉
11月23日(木)	大阪支部　総会・懇親会〈グラントック（大阪府立国際会議場12F)〉
12月10日(日)	和歌山支部　ジョン・ケンドリック杯 小・中学生英語スピーチコンテスト〈和歌山市中央コミュニティセンター〉
■ R6年	
2月24日(土)	東京支部　総会・懇親会「第35回関東地区卒業生の集い」〈GRACE BALI Ginza〉

※役員会・常任幹事会等の会議を除く。

令和６年度　校友会事業計画（令和6年4月末現在）

5月　9日(木)	東京支部ゴルフコンペ(単年特定活動)〈CCザ・レイクス〉
5月18日(土)	剣道部　OB会総会
18日(土)	ソフトテニス部　OB会総会・懇親会〈大学第２分館テニスコート・すいしん西院店〉
6月15日(土)	韓国支部　総会・懇親会〈ソウル「ヤンバンデク」〉
30日(日)	福井支部「こども国際講座」〈福井県立図書館〉
7月　7日(日)	和歌山支部　総会・音楽鑑賞・懇親会〈ホテルアバロームきのくに〉
27日(土)	教志会　英語教育実践報告研究会〈学内〉
28日(日)	混声合唱団ソレイユクラブOB会総会・懇親会〈R971〉
8月　4日(日)	福井支部　第10回総会・懇親会(福井フェニックスホテル)
14日(水)	徳島支部　総会・懇親会・阿波踊り〈ホテルクレメント徳島〉
17日(土)	富山支部　総会・懇親会〈ANAクラウンプラザホテル富山〉
9月28日(土)	石川支部　総会・懇親会〈かなざわ　石亭〉
10月　5日(土)	兵庫支部　総会・懇親会〈ホテルヴィスキオ尼崎〉
5日(土)	滋賀支部　総会・懇親会
12日(土)	EU支部　設立30周年記念総会
20日(日)	福井支部「福井県国際フェスティバル」〈福井県国際交流会館〉
26日(土)	高知支部　総会・懇親会
12月　8日(日)	和歌山支部　ジョン・ケンドリック杯 小・中学生英語スピーチコンテスト〈田辺市文化交流センター「たなべる」〉
■ R7年	
2月予定	東京支部　総会・懇親会〈都内〉

※事業計画は都合により変更される場合があります。
※役員会・常任幹事会の会議を除く。

〔SNS開設についてのお願い〕
校友会支部・クラブ同窓会などのSNS開設に関しましてはプライベートグループの管理者設定でお願いいたします。また校友会ロゴの使用は正式な校友会パブリシティ広報活動として使用し、SNSなどの任意のコミュニケーションツールでは使用を控えてくださいますようお願いいたします。

■ 校友会役員

会　長	中野多郎右工門	(s44A)
副会長	村井　正博	(s45A)
副会長	木下みゆき	(s56H)
書　記	杉本　博司	(s53A)
書　記	三角　雅彦	(s57A)
書　記	川本　葉子	(h09A)
会　計	杷込　敏一	(s63A)
会　計	加納友美子	(s60A)

■ 校友会監査

監査役	神谷　昌明	(s55A)
監査役	左近　正則	(s58A)
監査役	辻本　誠志	大学事務局長(s56A)

■ 常任幹事

前田　正久	(s46A)	神屋　信仁	(s47G)
柴岡　和生	(s48A)	竹内　信夫	(s51A)
手塚志津恵	(s51A)	拾井　　満	(s52A)
川村　欣司	(s52A)	青木　光子	(s52A)
大野　和男	(s52E)	杉本　隆文	(s54F)
藤本　豊巳	(s54I)	今井真貴子	(s55I)
中司　浩幸	(s59E)	蔭山　峰子	(s60A)
川畑　正樹	(h01A)	金島　由香	(h01A)
藤田　昌弘	(h01A)	竹村　紀子	(h02A)
原口　浩史	(h06E)	前田　恵美	(h10A)
野中　仁	(h15I)	大塚　妙香	(h19G)
ウイルソン恵	(h22A)		

■ 校友会支部連絡先　※個人情報につき取扱いには十分ご注意ください。

令和6年4月末現在

〈国内支部〉

東京支部	支部長	青木　光子	yuiyu81@yahoo.co.jp
大阪支部	支部長	植松　宏行	uhiairun@bell.ocn.ne.jp
京都支部	支部長	古澤　昭人	dan-akito@maia.eonet.ne.jp
徳島支部	支部長	岸本　和代	thanks-kazupage@me.pikara.ne.jp
富山支部	支部長	杉本　博司	hiroshisgmt@gmail.com
石川支部	支部長	手塚 志津恵	kyoshitsu109@coda.ocn.ne.jp
高知支部	支部長	髙島　勉	mjtss321@ybb.ne.jp
福岡支部	支部長	北村　亨	alumni.fukuoka@gmail.com
鹿児島支部	支部長	鬼丸　宏	099-243-5331
和歌山支部	支部長	植西　仁美	uenishihitomi@gmail.com
福井支部	支部長	松川　欽哉	kichan22@mx4.fctv.ne.jp
兵庫支部	支部長	川口　榮一	info@chuken.org
滋賀支部	支部長	木下　輝明	azuchiteluaki@smile.ocn.ne.jp
沖縄支部		再活動準備中	
Club HAT's	会長	垣見　和人	club.hats2016@gmail.com
教志会	会長	左近　正則	sakonmasanori59@gmail.com

〈海外支部〉

ロサンゼルス支部		再活動準備中	
EU支部	支部長	松本(モラン)幸枝 (s45F)	matsumoto-morin@orange.fr
メキシコ支部	支部長	原田　泉 (s47E)	i_harada1011@yahoo.co.jp
アルゼンチン支部	支部長	谷口　庄平 (s37A)	shohei@taniguchi.com.ar
ブラジル支部	支部長	ヴォウタニ 友美 (h15H)	actually_tomomi@hotmail.com
チリ支部	支部長	山口　大介 (h1E)	d.yamaguchi@kampomarino.cl
上海支部	支部長	奥原　崇之 (h4I)	takayuki.okuhara@ykk.com wechat ID：t-okuhara
シンガポール支部		再活動準備中	
香港支部		再活動準備中	
韓国支部	支部長	康　淑姫 (h20J)	toku-duhi@hotmail.co.jp
台湾支部	支部長	澁谷　浩 (s60I)	hao-segu@biduying.com.tw

■ 活動中のクラブ同窓会紹介　※下記クラブ同窓会と連絡をおとりになりたい方は、京外大校友会・事務局（075-322-6057）にお電話ください。

クラブ名	会長(世話人)名	卒業年度・学科
卓球部	中辻　政明	s43A
サッカー部	森本　昌利	s57G
ソフトテニス部	吉田　一郎	s39A
ヨット部	門谷　伸二	s47H
弓道部	上野　森由	s38A
空手道部	前田　早斗	s63A
剣道部	作間　幸雄	s59A
硬式庭球部	山本　正太	h14A
硬式野球部	八木精一郎	h03A
柔道部	河越　将守	s44A
少林寺拳法部	中川　賛一	h03I
ボクシング部	平松正四郎	s44E
バレーボール部	谷口　賢一	s52A
バスケットボール部	大元　浩文	s58A
応援団	川中　健司	s44A
陸上競技部	菊本　厚次	s48H

クラブ名	会長(世話人)名	卒業年度・学科
スカウトクラブ	植木　省道	s55E
ローターアクトクラブ	神谷　昌明	s55A
自然科学研究会	橿本　五代	s49A
海外事情研究会	沢田　勝義	s46H
混声合唱団ソレイユ	大野　和男	6E
貿易研究会	植松　宏行	s43A
能楽部	島谷　直見	s51A
ＦＧＣ	藤田　　卓	s45A
弦楽アンサンブル	宮田　怜奈	h30A
吹奏楽団	平原　靖彦	h01I
ドイツ語研究会	神屋　信仁	s47G
ＥＳＳ	桟敷　雄二	s48A
学生放送局	小川　欣一	s42A
アメリカンフォークソングクラブ	田賀たづみ	s44A
スペイン語研究会	吉富志津代	s53E
茶道部	加納友美子	s60A

※変更がある場合には校友会事務局へご連絡をお願いします。